

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：オリーブ

調査実施期間：令和4年2月10日～令和4年2月21日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3		・全員いるとスペースが狭く、密になりがち。環境の課題は簡単には改善が難しい。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1		・送迎で出入りするのでギリギリだと思う。人員配置の難しさは理解できるが、もう少し余裕を持って業務を行いたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	1	・玄関前の階段が急だが、賃貸のため改善が難しい。室内はバリアフリー化となっている ・トイレの安全面のために手すりの設置を検討したい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			・季節の行事やイベントでは企画書を作成し目的を明確にして取り組んでいる。活動後には反省と振り返りをし、より良い活動になるようにしている。 ・チーム内で意見を出し合い改善するよう検討する場を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		・評価結果をもとに職員会議で内容の確認を行っている。すぐに改善できるところから着手できている。 ・施設自体（ハード面）の課題は、改善が難しいが、長期的に考えていく課題であると言える。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・保護者へ周知するため、保護者会で説明している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	・第3者評価制度を取り入れると良いが、審査に耐えうる事業の体制が出来ているかの検証が必要。今後の課題としたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		職場から様々な研修会のお知らせを貰い、自分の受講出来る研修に参加している。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・管理者が行っている。 ・相談支援専門員とも情報共有しながら、事業所内の職員で意見交換しながら進めている。

	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・週案作成時、チームで意見を出し合い作成している。複数の活動を組み合わせている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・曜日ごとに主活動が決まっているが、それぞれ野職員が得意なことを生かして活動を考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			・学校、家庭側の不規則な予定に柔軟に対応している。 ・長期休暇は平日より時間に余裕があるので普段ゆっくり取り組めない課題に挑戦することもある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・子どもの状況にできる限り配慮している。 ・集団でやりたい活動と個別にゆっくりやりたい活動を考えている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・作業は工程確認し合い取り組んでいる。 ・職員が同じ気持ちや考えで支援が出来るよう打ち合わせし、コミュニケーションを図るよう努めている。 ・パート職員にもその日の活動や送迎についても周知するようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		・日々振り返りながら、課題や気になる様子、良い面など情報共有することを心がけている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・毎日、記録をとり、自分が気付かなかった点は他の職員に教えてもらい正しく記録している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7			日々の活動により心身の機能の向上ができる活動をしている。
連携関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・特に支援が必要とされる児については、利用児の主担当が必ず出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・確認不足や変更漏れがないようダブルチェックを職員間で行っている。 ・送迎の際、子どもの様子を聞いて情報共有

					有をする。行事や下校時刻がわかるお便りを貰い確認している。	
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	4	・現在、医ケアが必要な児童の受け入れはしていない。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			・必要に応じて情報共有を行っている。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1		・実績がまだ足りないが、一般企業や就労系事業所に就労する事になる場合には、必ず情報共有する事としている。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			7	・コロナウイルス感染を考慮し、交流することには行っていない。 ・コロナ渦で交流が出来ないが、コロナが落ち着いたら交流の機会を設けたい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	7			・子ども部会に参加している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・送迎の際に子どもの様子を伝えながらより良いコミュニケーションをとり話しやすい雰囲気作りに努めている。 ・送迎時に事業所での様子を伝え、ご家庭での様子も聞いている。 ・連絡帳の活用をしている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			法人で開催しているペアレント・トレーニングについて案内し参加を促している。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・送迎の際に様子をお知らせしたり、職員がどのような対応をしたのかつたえ
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		1	・保護者会の場で自己紹介をし、同学年や同じ障がいのある子を持つ親同士の仲間が出来る様、交流の場も作っている。 ・父母会は無いが、保護者会を開催しており日頃は話すことが難しいご家庭間の交流の場になっている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、	7			・苦情に関しては、電話や訪問数などして・

	対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか				速やかに対応している。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・りんご通信等の会報に活動の様子を文章と写真（個人情報には注意しながら）を記載し各ご家庭に配布している。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	7			・写真掲載や新聞社等取材時には特に配慮している。 ・書類の取り扱いにも注意を払っている。シユレッターの活用なども厳格に実施している。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・日々の送迎時の受け渡し時にも、短時間ではあるがコミュニケーションを図る事に努めている。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			・商店街での花壇（プランター）の花植え・水やりの活動を行う際、地域の方と交流している。 ・今年度はハロウィンのための交流だった。 ・太鼓発表会に地域の方を招待し開催予定だったが、コロナウィルス感染拡大の影響で中止せざるを得なくなった。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			マニュアルを読み、打ち合わせなどをして周知している。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・年に2回避難訓練を行っている。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・担当職員が研修に参加している。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	1	・現在、身体拘束が必要な子どもの対象がない。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・事例が出た場合、書面にて情報共有を行い再発防止に努めている。